

清須市子ども・子育て支援事業計画
調査結果報告書

令和元年 8 月

目次

1. ニーズ調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の対象	1
(3) 調査の方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収状況 ※7月22日現在	1
2. ニーズ調査結果概要	2
(1) 子育て家庭の実態	2
(2) 親の就労状況	13
(3) 保育・教育ニーズ	16
(4) 病気の時の対応	19
(5) 一時預かり	21
(6) 放課後の過ごし方	24
(7) 幼児教育・保育の無償化	25

1. ニーズ調査概要

(1) 調査の目的

清須市子ども・子育て支援事業計画策定のために市内に居住する就学前の子どものいる世帯、小学生の子どものいる世帯を対象に、子育て支援に関する施設やサービスの利用状況、今後の利用希望等の子育て支援サービスに関するニーズを把握するために実施しました。

(2) 調査の対象

- ①就学前の子どものいる世帯：2,000 世帯
- ②小学生の子どものいる世帯：1,000 世帯

(3) 調査の方法

市内に居住する就学前の子どものいる世帯、小学生の子どものいる世帯の保護者に郵送配布・郵送回収

(4) 調査期間

令和元年6月

(5) 回収状況 ※7月22日現在

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	2,000	987	49.4%
小学生	1,000	470	47.0%

	西枇杷島地区	清洲地区	新川地区	春日地区
送付数	829	1,123	707	341
回収数	390	492	346	160
回収率	47.0%	43.8%	48.9%	46.9%

【*回収数は「わからない」46、「無回答」23 を含まない】

2 ニーズ調査結果概要

(1) 子育て家庭の実態

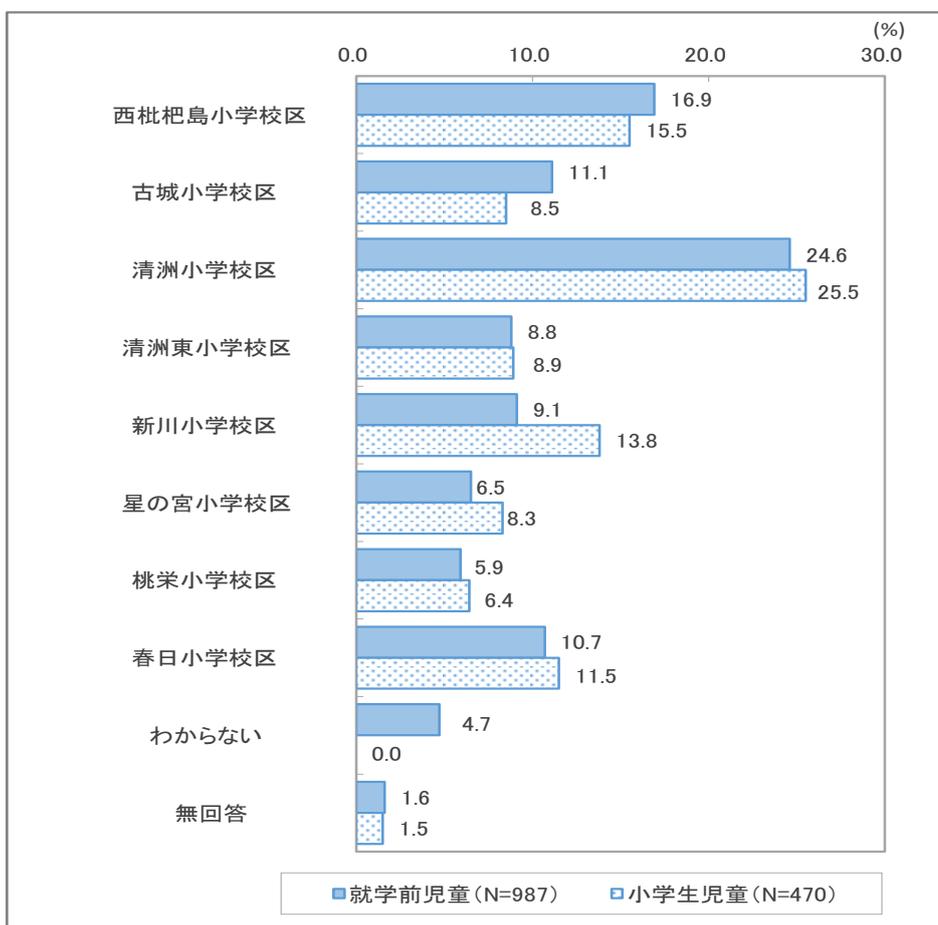
①小学校区

就学前児童

◆ 住まいの小学校区については、「清洲小学校区」が24.6%と最も多く、次いで「西枇杷島小学校区」が16.9%、「古城小学校区」が11.1%、「春日小学校区」が10.7%の順となっています。

小学生児童

◆ 住まいの小学校区については、「清洲小学校区」が25.5%と最も多く、次いで「西枇杷島小学校区」が15.5%、「新川小学校区」が13.8%の順となっています。



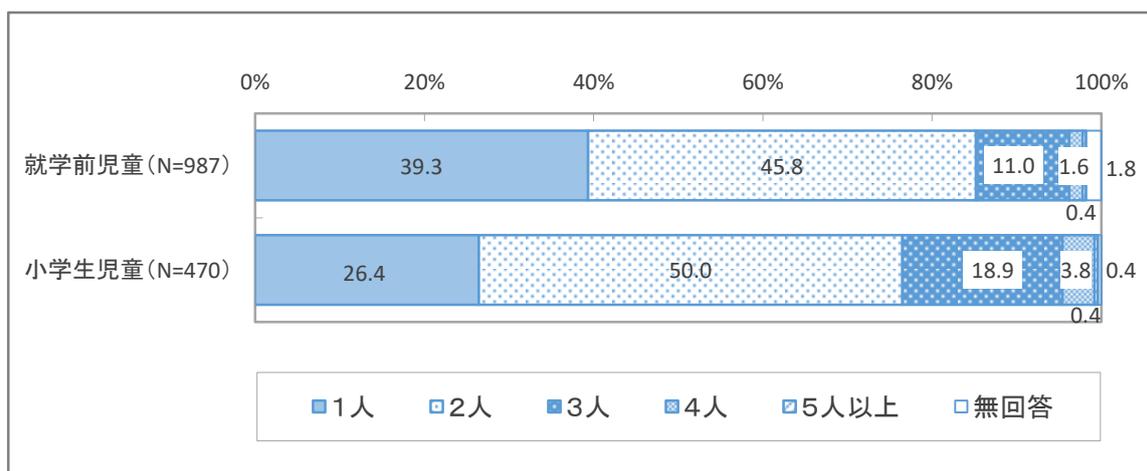
②子どもの人数

就学前児童

◆ 子どものきょうだいの人数は、「2人」が45.8%と最も多く、次いで「1人」が39.3%、「3人」が11.0%となっています。

小学生児童

◆ 子どものきょうだいの人数は、「2人」が50.0%と最も多く、次いで「1人」が26.4%、「3人」が18.9%となっています。



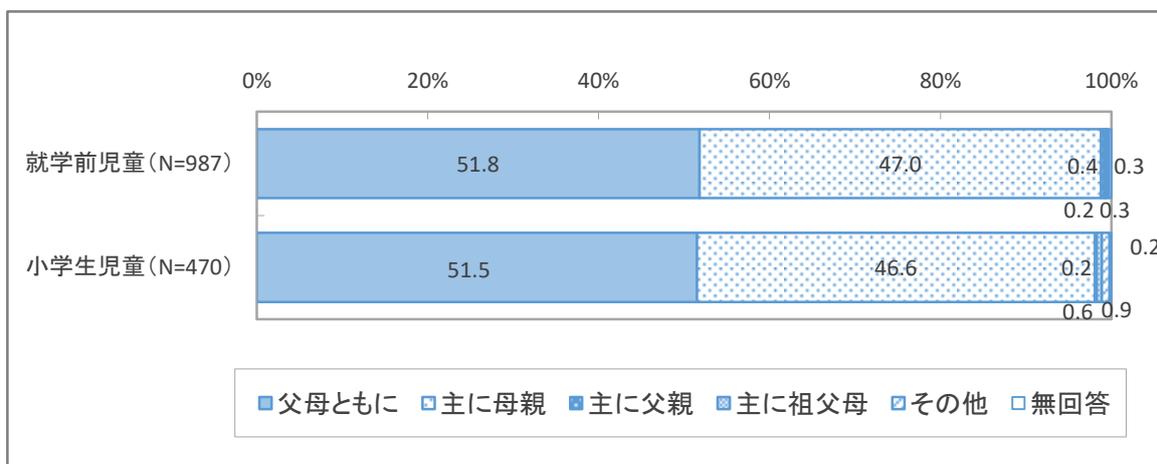
③主な保育者

就学前児童

◆ 子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が51.8%と最も多く、次いで「主に母親」が47.0%となっています。

小学生児童

◆ 子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が51.5%と最も多く、次いで「主に母親」が46.6%となっています。



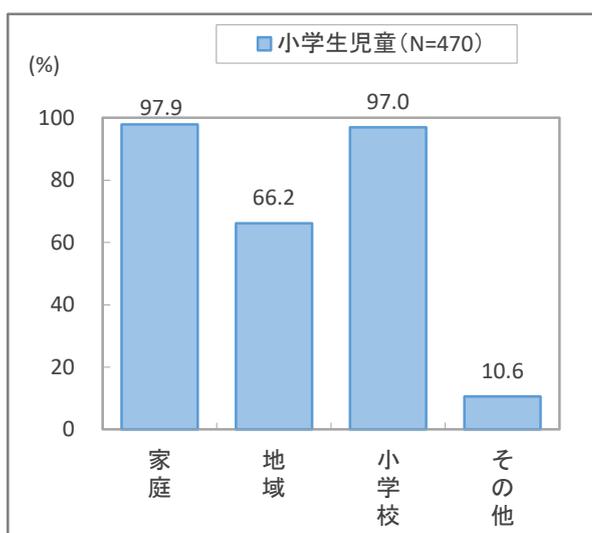
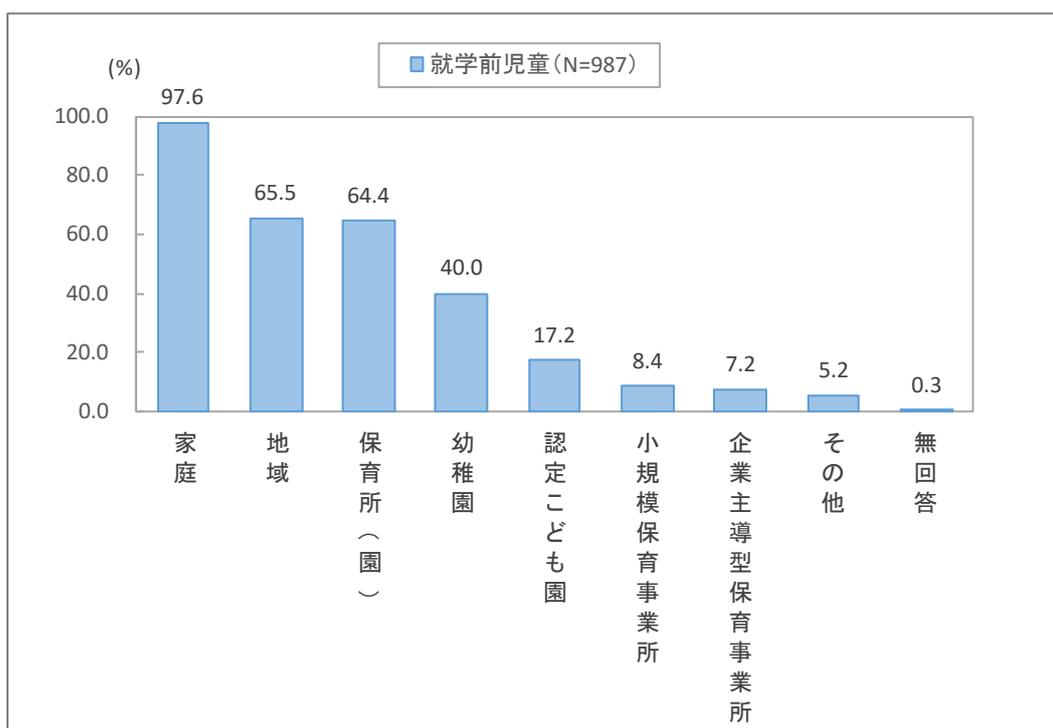
④子育てに影響すると思われる環境

就学前児童

◆ 子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が97.6%と最も多く、次いで「地域」が65.5%、「保育所」が64.4%、「幼稚園」が40.0%となっています。

小学生児童

◆ 子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が97.9%と最も多く、次いで「学校」が97.0%、「地域」が66.2%となっています。その他は「習い事・塾」が全体の5.1%と多く、次いで親戚・祖父母1.5%、友達1.3%となっています。



小学生児童

その他内訳 (多数のもの)

	件数	割合
習い事・塾	24	5.1
親戚・祖父母	7	1.5
友達	6	1.3

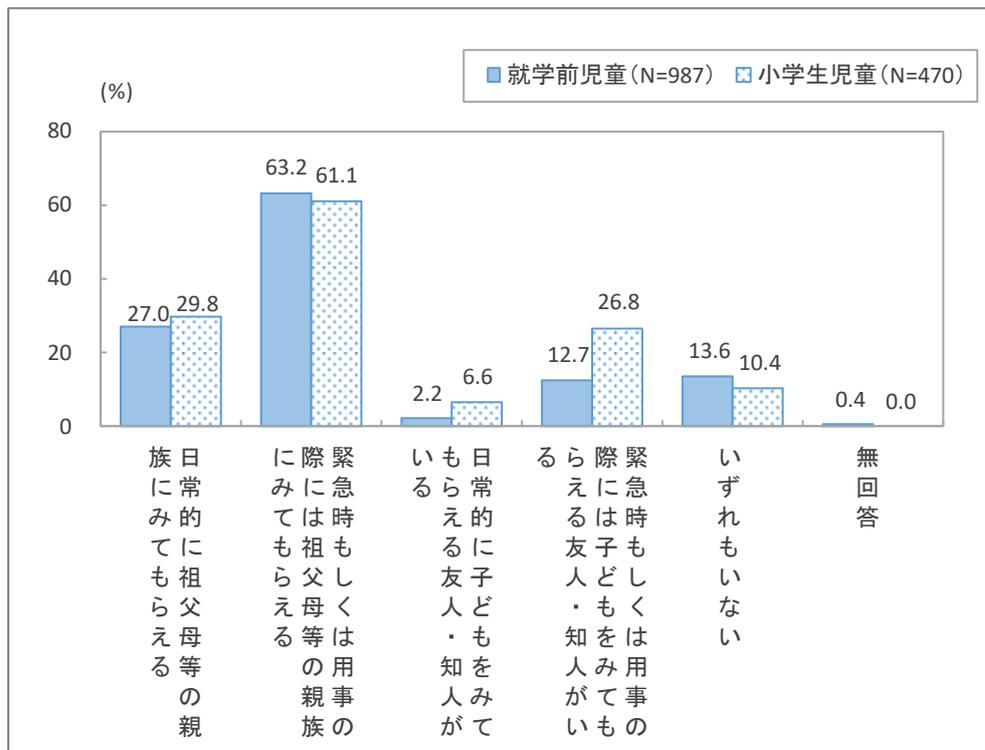
⑤子育てを手助けする親族・知人について

就学前児童

◆ 日頃、子育てを手助けする親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.2%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が27.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が12.7%の順となっています。一方、「いずれもない」は13.6%となっています。

小学生児童

◆ 日頃、子育てを手助けする親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が29.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が26.8%の順となっています。一方、「いずれもない」は10.4%となっています。



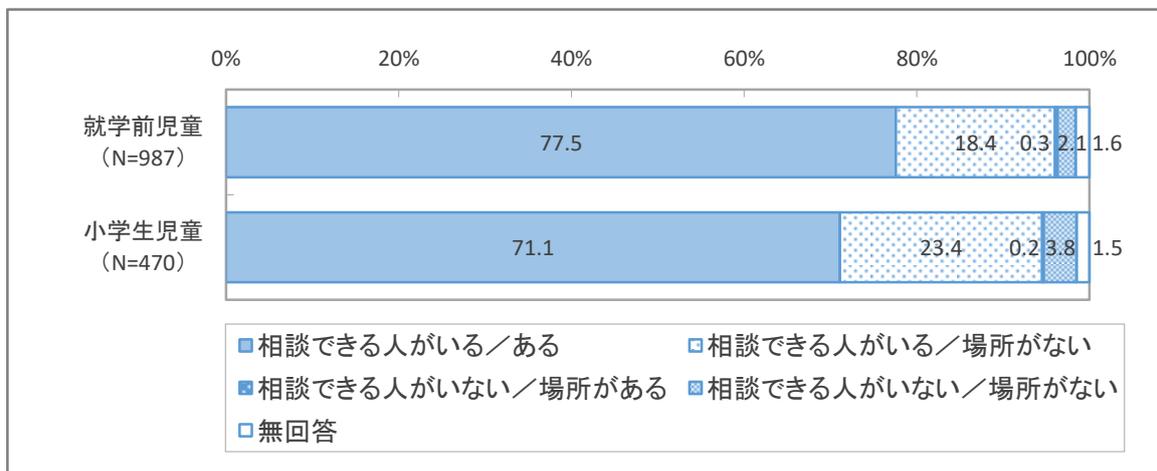
⑥子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無

就学前児童

◆ 子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無については、「相談できる人がいる／ある」が77.5%と最も多く、次いで「相談できる人がいる／場所がない」が18.4%となっており、「相談できる人や場所がある」人が9割以上を占めている一方、「相談できる人がいない／場所がない」は2.1%となっています。

小学生児童

◆ 子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無については、「相談できる人がいる／ある」が71.1%と最も多く、次いで「相談できる人がいる／場所がない」が23.4%となっており、就学前児童と同様に「相談できる人や場所がある」人が9割以上を占めている一方、「相談できる人がいない／場所がない」は3.8%となっています。



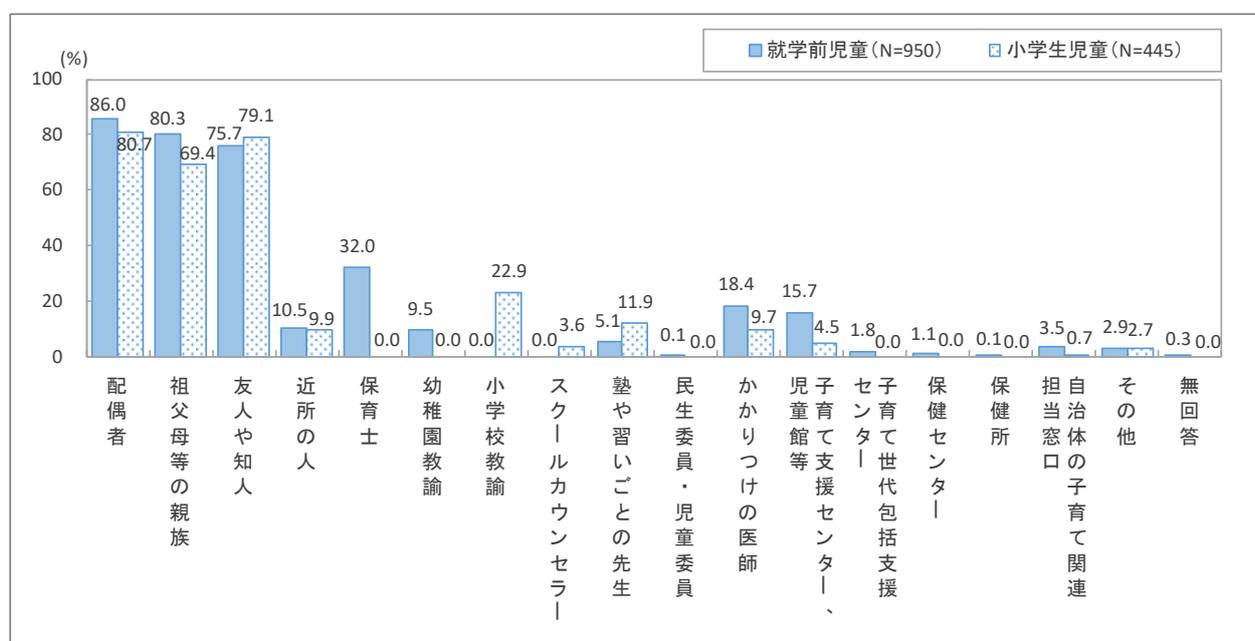
⑦子育てに関して、気軽に相談できる人や場所

就学前児童

◆ 子育てに関して、気軽に相談できる人（場所）については、「配偶者」が86.0%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が80.3%、「友人や知人」が75.7%となっており、身近な人に相談する人が多くなっています。これらに続いては、「保育士」が32.0%、「かかりつけの医師」が18.4%、「子育て支援センター、児童館等」が15.7%の順となっています。

小学生児童

◆ 子育てに関して、気軽に相談できる人（場所）については、「配偶者」が80.7%と最も多く、次いで「友人や知人」が79.1%、「祖父母等の親族」が69.4%となっており、就学前児童の保護者と同様に身近な人に相談する人が多くなっています。これらに続いては、「小学校教諭」が22.9%、「塾や習いごとの先生」が11.9%の順となっています。



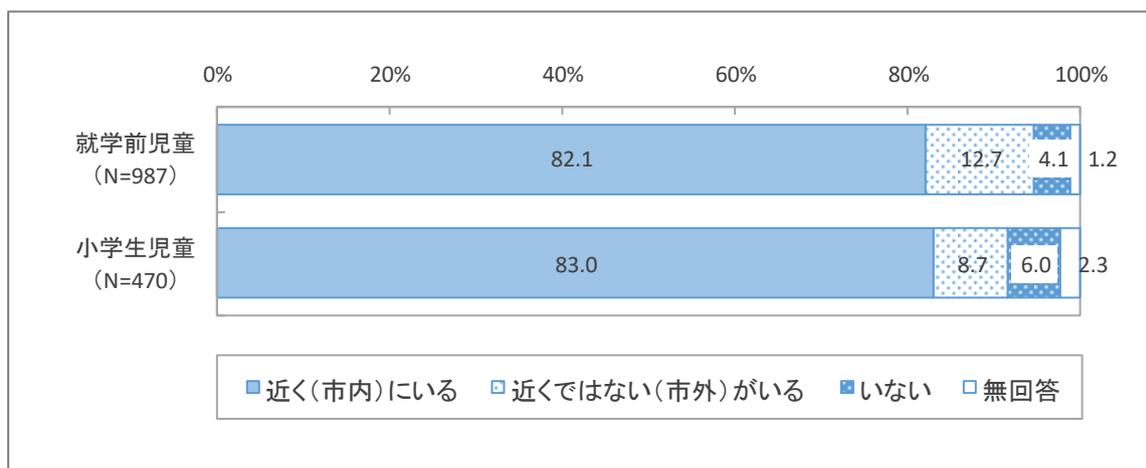
⑧かかりつけの医師の有無

就学前児童

◆ けがや病気の時、診てくれたり、相談ができるかかりつけの医師の有無については、「近く（市内）にいる」が82.1%と最も多く、次いで「近くではない（市外）がいる」が12.7%となっており、かかりつけの医師が「いる」人が9割以上を占めている一方、「いない」は4.1%となっています。

小学生児童

◆ けがや病気の時、診てくれたり、相談ができるかかりつけの医師の有無については、「近く（市内）にいる」が83.0%と最も多く、次いで「近くではない（市外）がいる」が8.7%となっており、就学前児童と同様にかかりつけの医師が「いる」人が9割以上を占めている一方、「いない」は6.0%となっています。



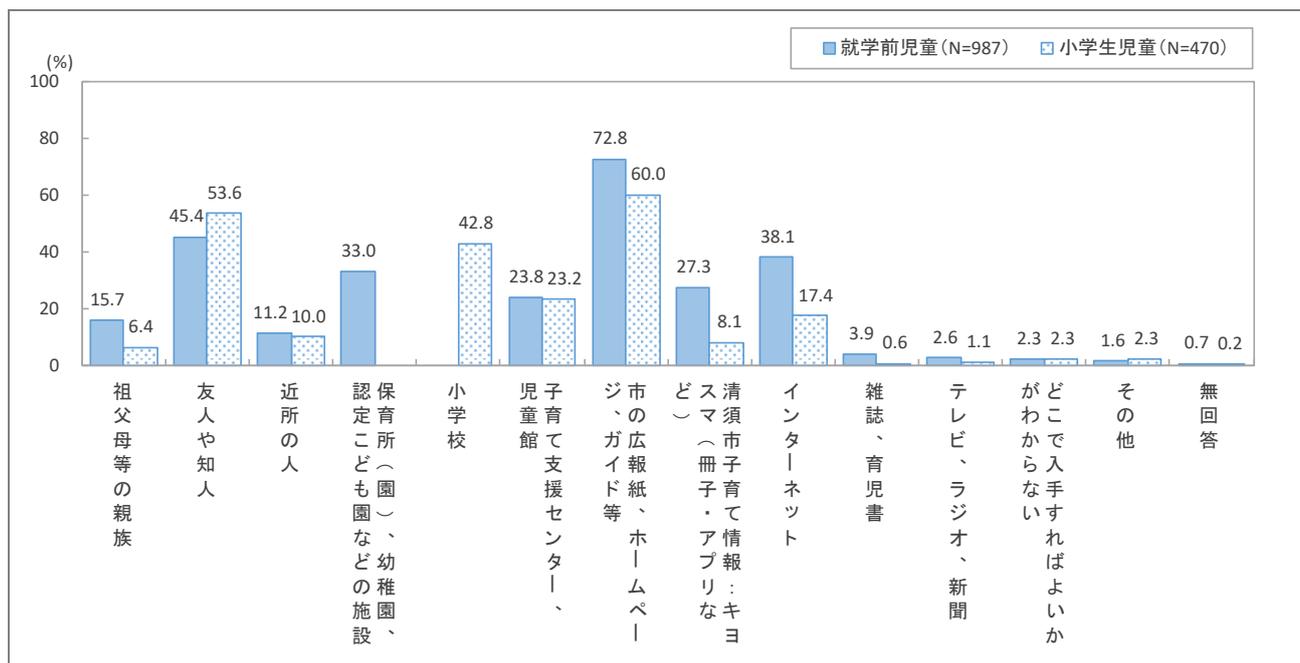
⑨子育てに関する情報の入手方法

就学前児童

◆ 子育てに関する情報をどのように入手しているかについては、「市の広報紙、ホームページ、ガイド等」が72.8%と最も多く、次いで「友人や知人」が45.4%、「インターネット」が38.1%、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園などの施設」が33.0%の順となっています。

小学生児童

◆ 子育てに関する情報をどのように入手しているかについては、「市の広報紙、ホームページ、ガイド等」が60.0%と最も多く、次いで「友人や知人」が53.6%、「小学校」が42.8%、「子育て支援センター、児童館」が23.2%の順となっています。



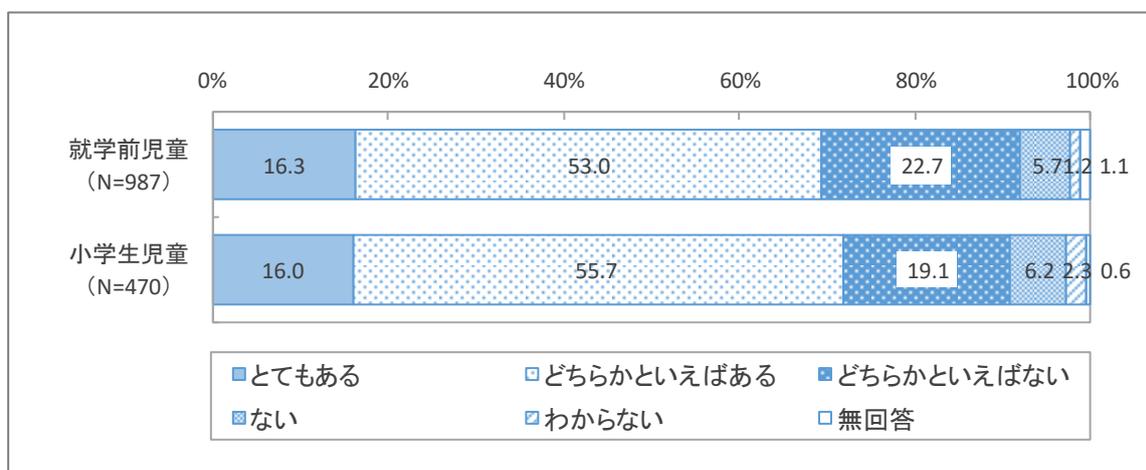
⑩子育てをしていて負担・不安に思うこと

就学前児童

◆ 子育てをしていて負担・不安に思うことがあるかについては、「どちらかといえばある」が53.0%と最も多く、次いで「どちらかといえはない」が22.7%、「とてもある」が16.3%、「ない」が5.7%の順となっており、負担・不安に思うことが「ある」人は約7割を占めています。

小学生児童

◆ 子育てをしていて負担・不安に思うことがあるかについては、「どちらかといえばある」が55.7%と最も多く、次いで「どちらかといえはない」が19.1%、「とてもある」が16.0%、「ない」が6.2%の順となっており、就学前児童と同様に負担・不安に思うことが「ある」人は約7割を占めています。



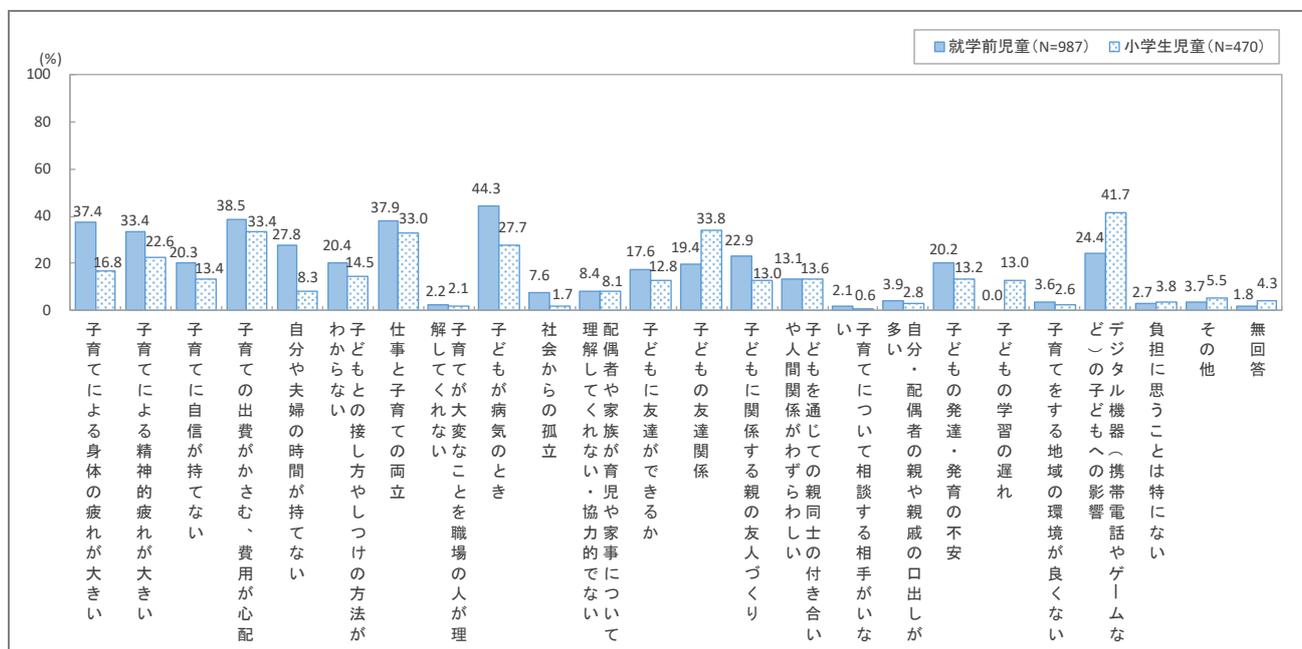
⑪子育ての負担・不安の具体例

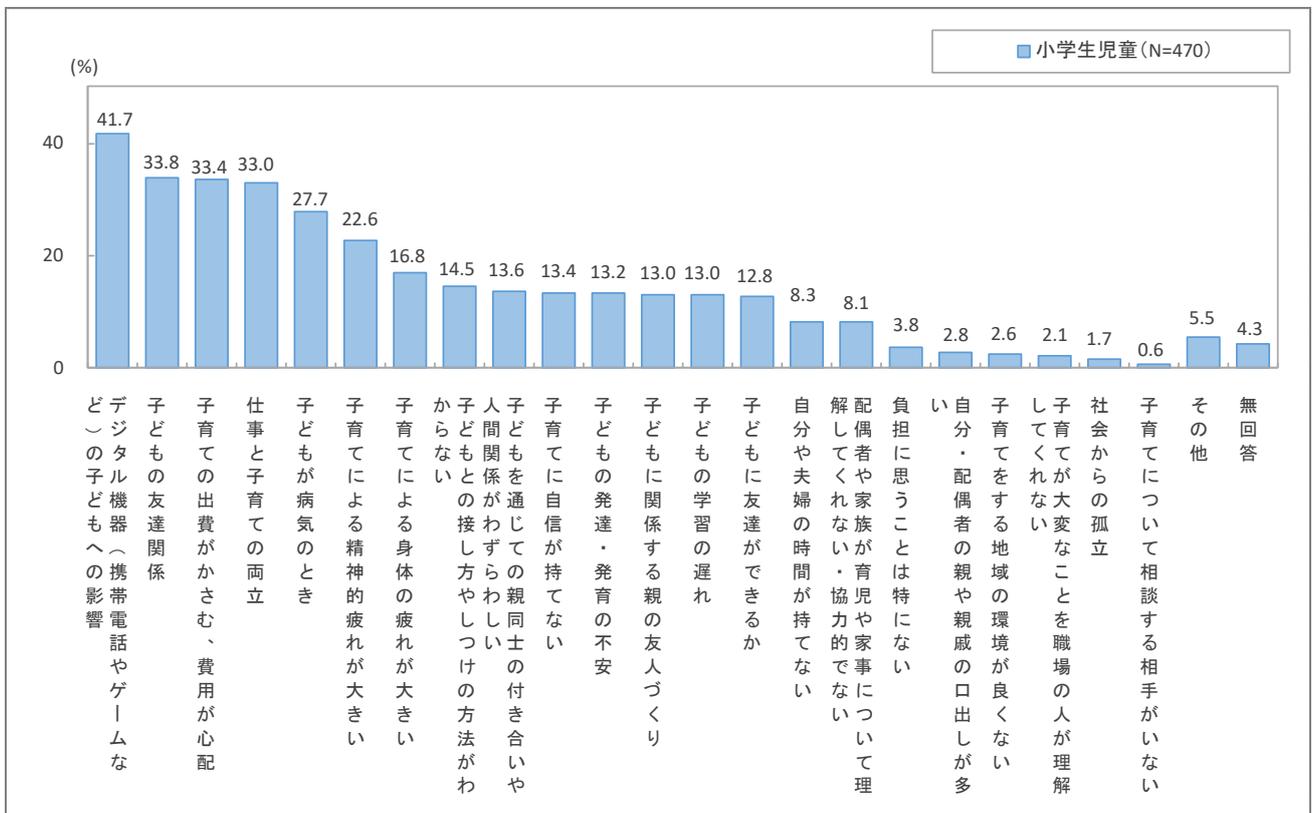
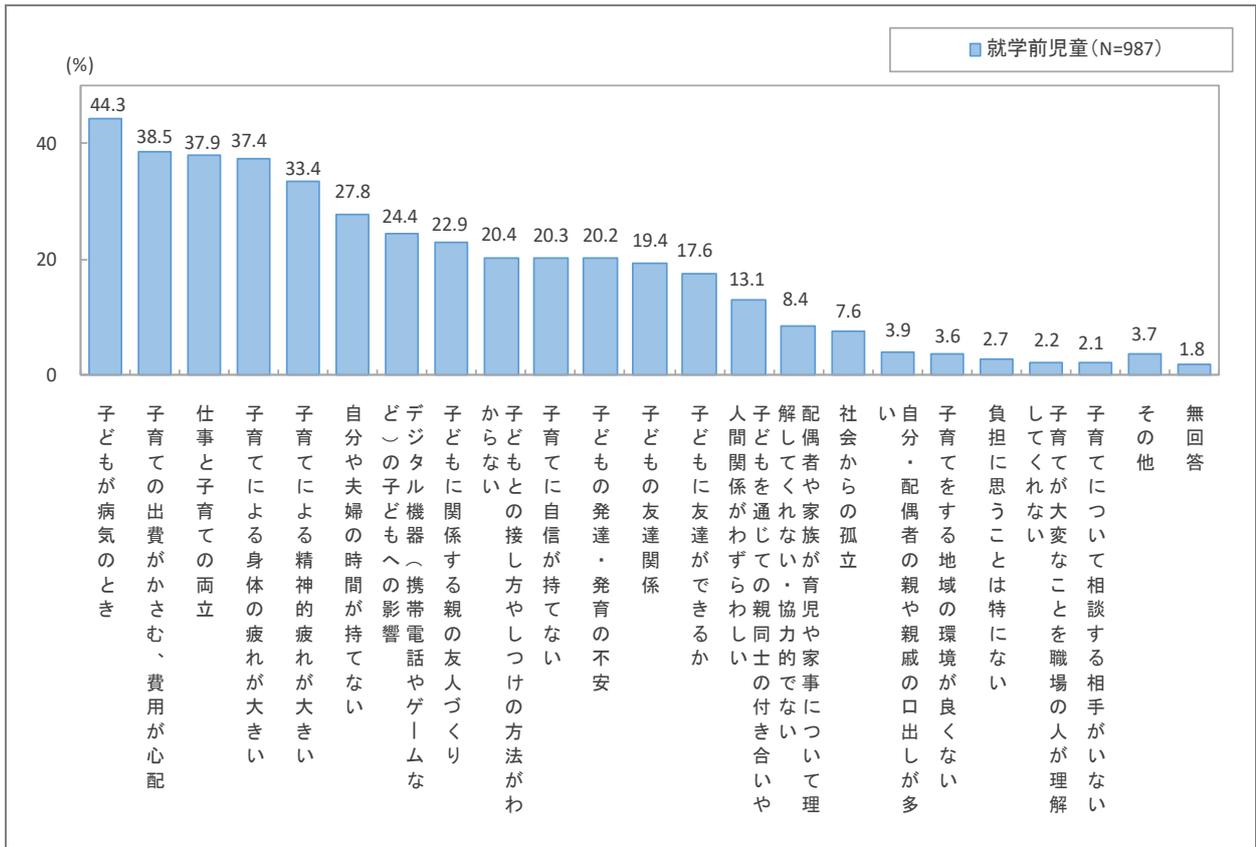
就学前児童

◆ 具体的にどのようなことを負担・不安に思うかについては、「子どもが病気の時」が44.3%と最も多く、次いで「子育ての出費がかさむ、費用が心配」が38.5%、「仕事と子育ての両立」が37.9%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が37.4%、「子育てによる精神的疲れが大きい」33.4%の順となっています。

小学生児童

◆ 具体的にどのようなことを負担・不安に思うかについては、「デジタル機器（携帯電話やゲームなど）の子どもへの影響」が41.7%と最も多く、次いで「子どもの友達関係」が33.8%、「子育ての出費がかさむ、費用が心配」が33.4%、「仕事と子育ての両立」が33.0%、「子どもが病気の時」27.7%の順となっており、上位2つは就学前児童と異なる結果となりました。





(2) 親の就労状況

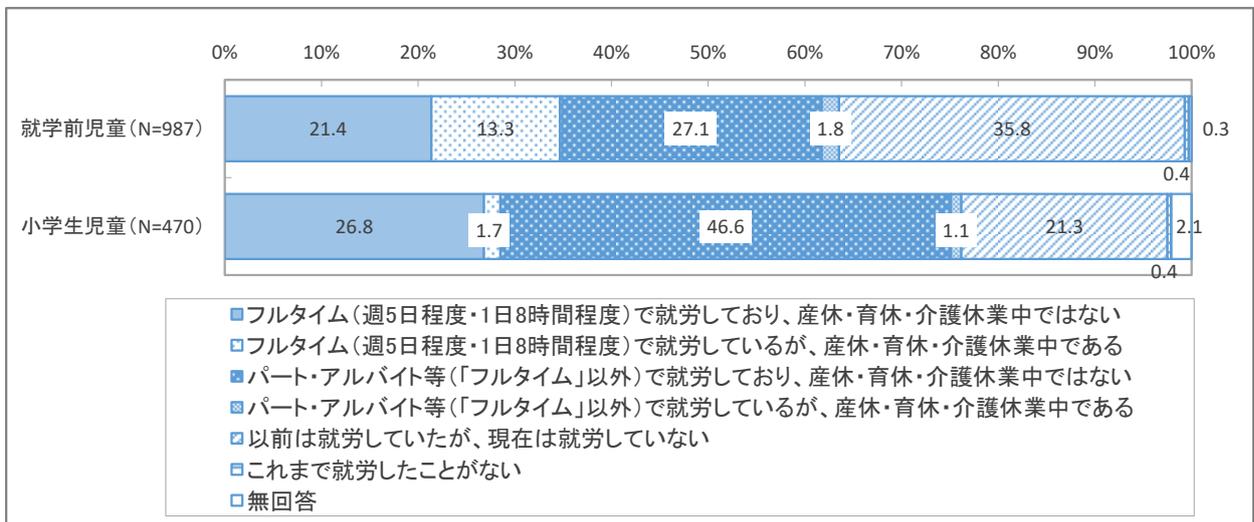
①母親の就労状況

就学前児童

◆ 母親の就労状況についてみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が35.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.1%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.4%の順となっています。また、母親で就労している人は、約6割（63.6%）を占めています。

小学生児童

◆ 母親の就労状況についてみると、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.6%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.3%の順となっています。また、母親で就労している人は、76.2%を占めています。



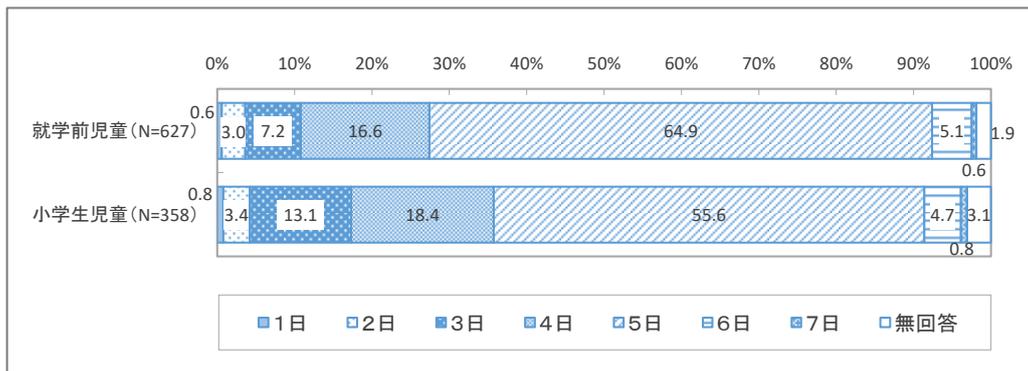
②母親の1週間当たりの就労日数

就学前児童

◆ 母親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が64.9%と最も多く、次いで「4日」が16.6%、「3日」が7.2%、「6日」が5.1%の順になっています。

小学生児童

◆ 母親の1週間当たりの就労日数は、「5日」が55.6%と最も多く、次いで「4日」が18.4%、「3日」が13.1%、「6日」が4.7%の順になっています。



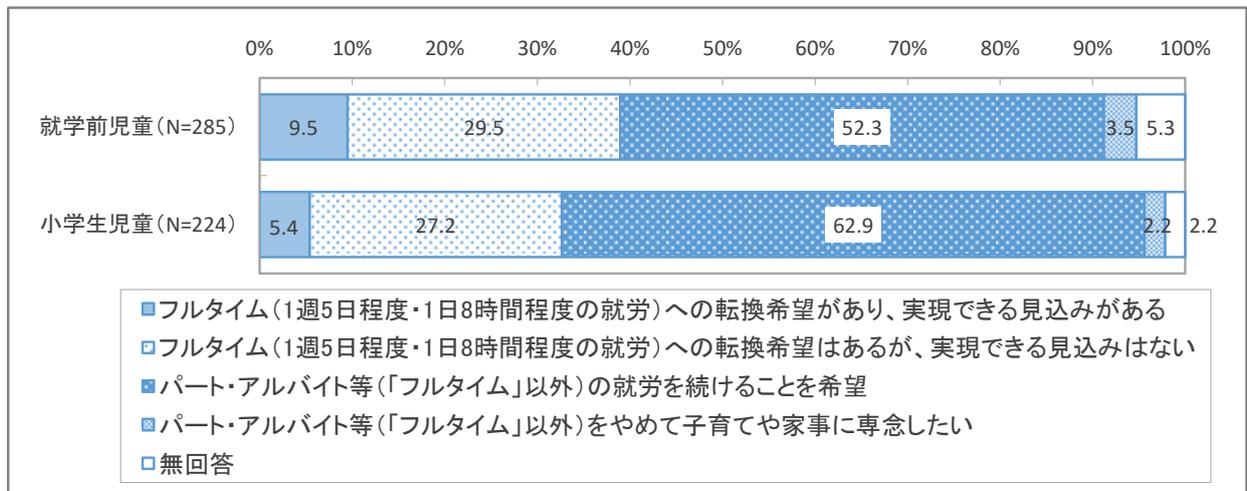
③母親のフルタイムへの転換希望

就学前児童

◆ フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が52.3%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.5%となっています。

小学生児童

◆ フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が62.9%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.4%となっています。



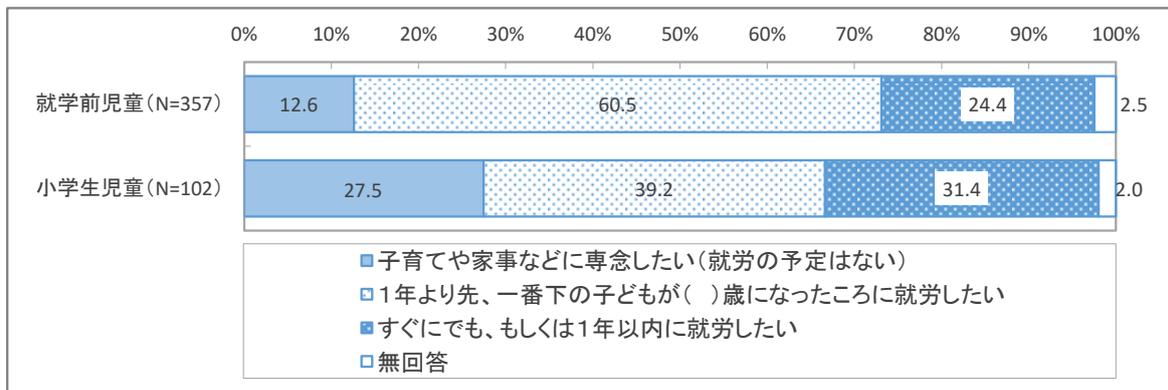
④母親の就労希望

就学前児童

◆ 今後の母親の就労希望については、「1年以上先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」が60.5%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が24.4%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が12.6%となっています。

小学生児童

◆ 今後の母親の就労希望については、「1年以上先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」が39.2%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が31.4%、「子育ては家事などに専念したい(就労の予定はない)」が27.5%となっています。



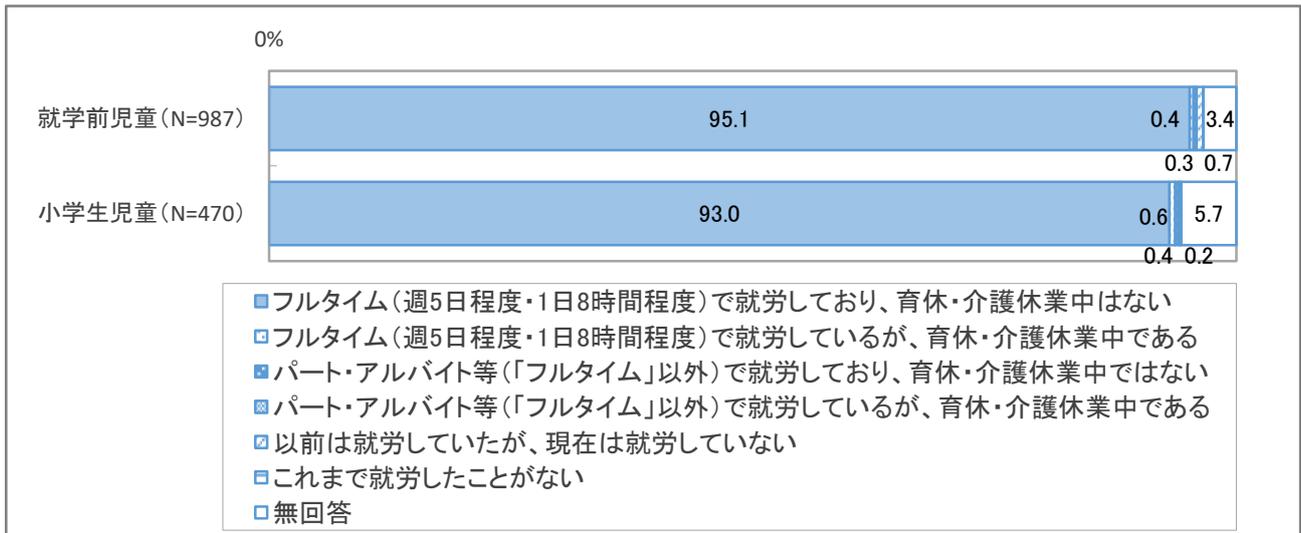
⑤父親の就労状況

就学前児童

◆ 父親の就労状況についてみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が95.1%と最も多くなっています。

小学生児童

◆ 父親の就労状況についてみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が93.0%と最も多くなっています。



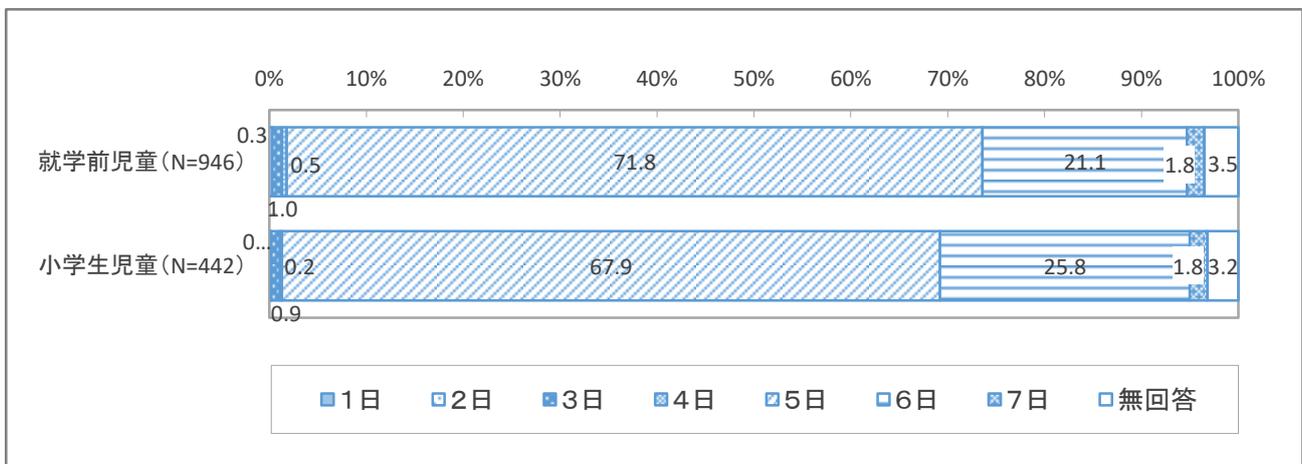
⑥父親の1週間あたりの就労日数

就学前児童

◆ 父親の1週間あたりの就労日数は、「5日」が71.8%と最も多く、次いで「6日」が21.1%となっています。

小学生児童

◆ 父親の就労状況についてみると、「5日」が67.9%と最も多く、次いで「6日」が25.8%となっています。

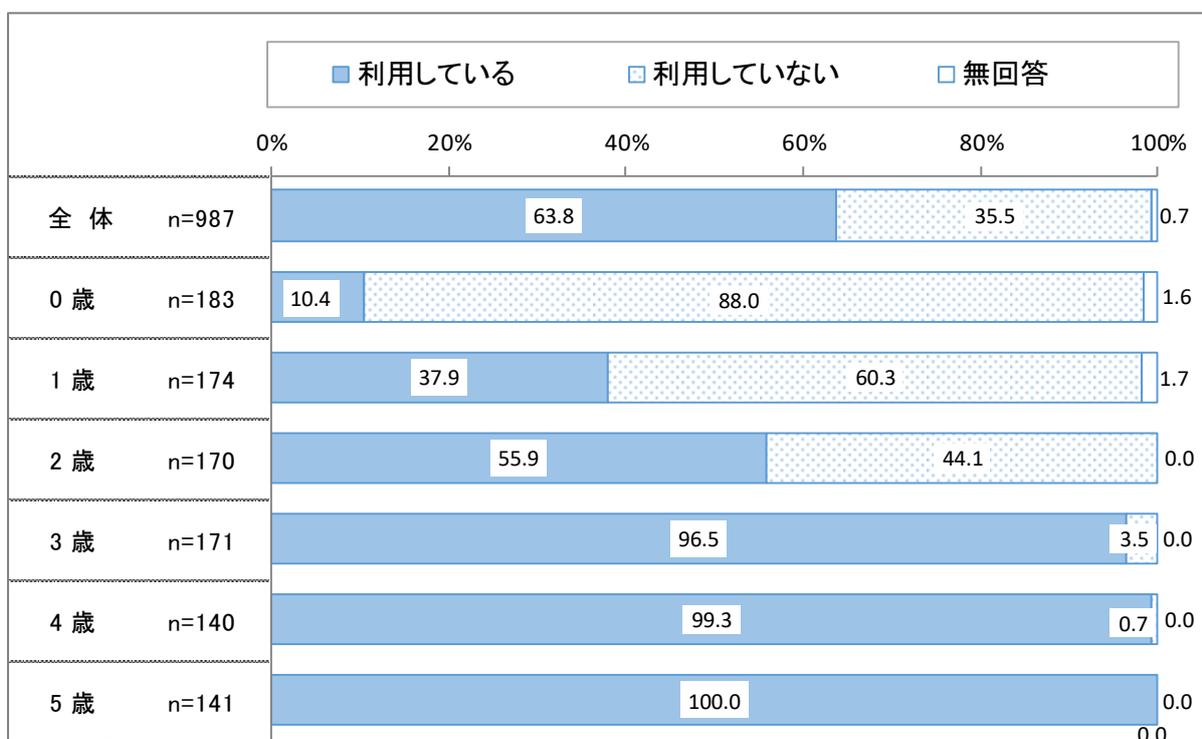
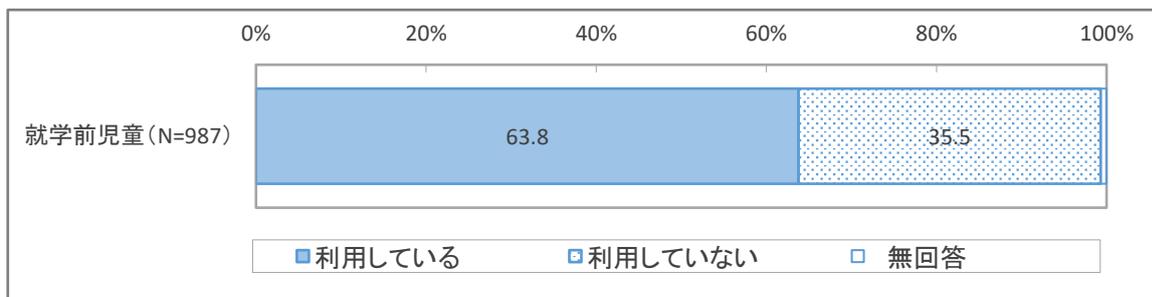


(3) 保育・教育ニーズ

①保育・教育サービス利用状況

就学前児童

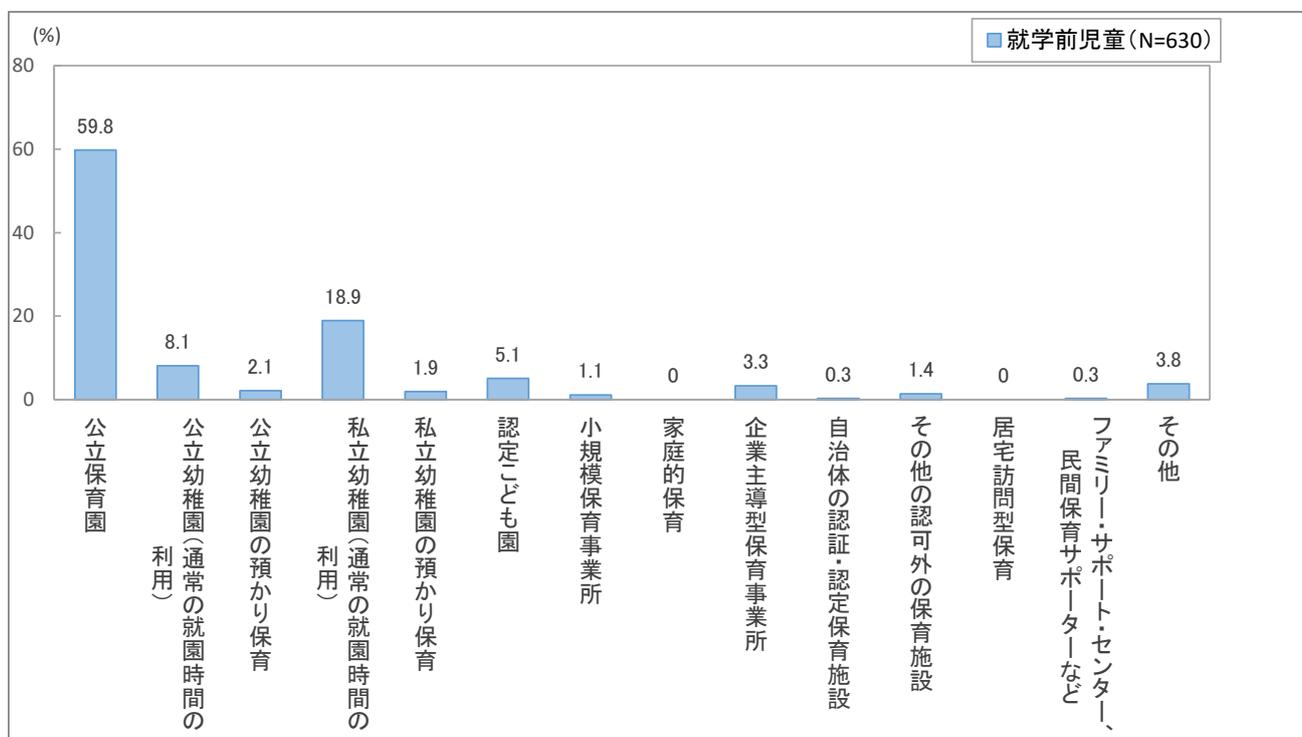
◆ 保育・教育サービス利用状況は、「利用している」が63.8%、「利用していない」が35.5%となっています。



②平日に利用している教育・保育事業

就学前児童

◆ 平日に利用している教育・保育事業は、「公立保育園」が59.8%と最も多く、次いで「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が18.9%、「公立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が8.1%、「公立幼稚園の預かり保育」が2.1%、「私立幼稚園の預かり保育」が1.9%、「認定こども園」が5.1%、「小規模保育事業所」が1.1%、「家庭的保育」が0%、「企業主導型保育事業所」が3.3%、「自治体の認証・認定保育施設」が0.3%、「その他の認可外の保育施設」が1.4%、「居宅訪問型保育」が0%、「ファミリー・サポート・センター、民間保育サポーターなど」が0.3%、「その他」が3.8%となっています。

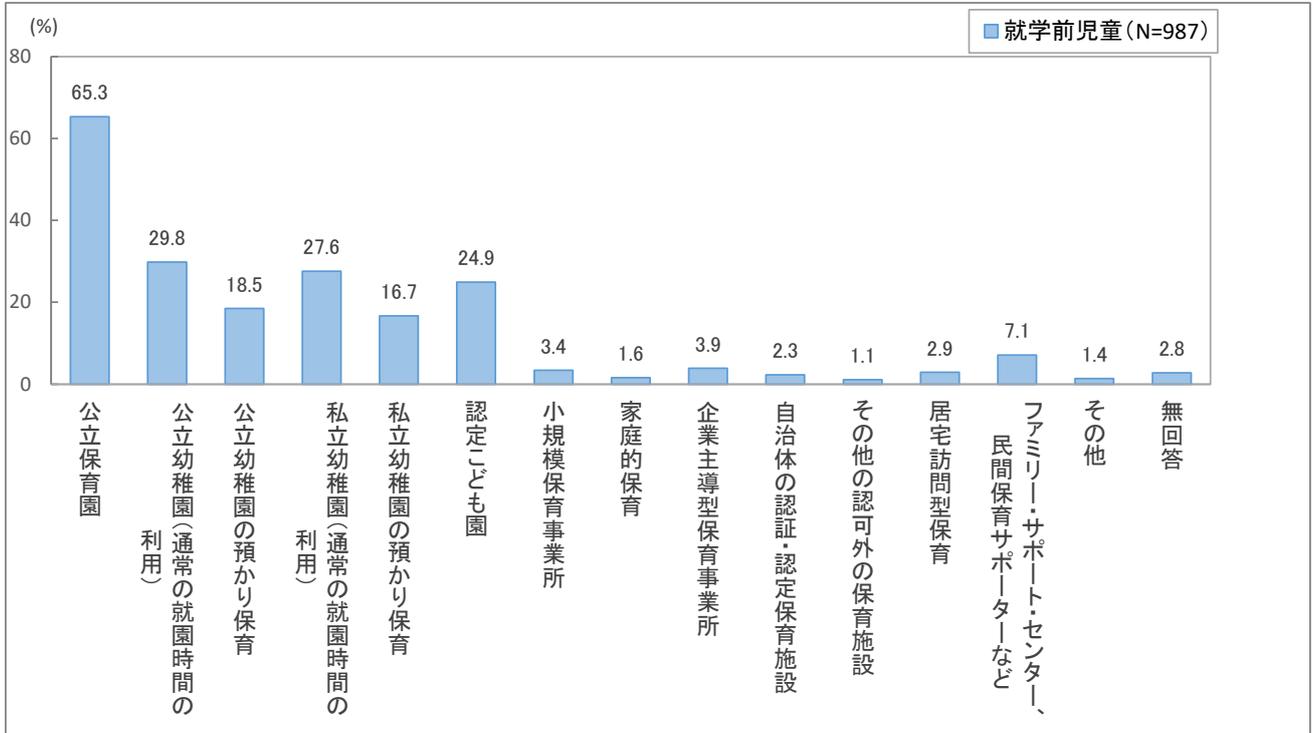


	全 体	公立 保育園	公立 幼稚園 (通常 の就園 時間の 利用)	公立 幼稚園 の預かり 保育	私立 幼稚園 (通常 の就園 時間の 利用)	私立 幼稚園 の預かり 保育	認 定 こ ど も 園	小 規 模 保 育 事 業 所	家 庭 的 保 育	企 業 主 導 型 保 育 事 業 所	自 治 体 の 認 証 ・ 認 定 保 育 施 設	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー 、 民 間 保 育 サ ポ ー タ ー な ど	そ の 他
全 体	630	377	51	13	119	12	32	7	-	21	2	9	-	2	24
	100	59.8	8.1	2.1	18.9	1.9	5.1	1.1	-	3.3	0.3	1.4	-	0.3	3.8
0 歳	19	8	-	-	-	-	4	2	-	4	-	-	-	-	1
	100	42.1	-	-	-	-	21.1	10.5	-	21.1	-	-	-	-	5.3
1 歳	66	51	1	2	3	-	1	1	-	6	-	2	-	-	5
	100	77.3	1.5	3.0	4.5	-	1.5	1.5	-	9.1	-	3.0	-	-	7.6
2 歳	95	55	5	1	11	2	1	4	-	8	1	5	-	1	8
	100	57.9	5.3	1.1	11.6	2.1	1.1	4.2	-	8.4	1.1	5.3	-	1.1	8.4
3 歳	165	93	18	2	40	1	9	-	-	1	-	2	-	1	4
	100	56.4	10.9	1.2	24.2	0.6	5.5	-	-	0.6	-	1.2	-	0.6	2.4
4 歳	139	81	9	2	37	7	9	-	-	1	-	-	-	-	3
	100	58.3	6.5	1.4	26.6	5.0	6.5	-	-	0.7	-	-	-	-	2.2
5 歳	141	86	17	6	28	2	8	-	-	1	-	-	-	-	3
	100	61.0	12.1	4.3	19.9	1.4	5.7	-	-	0.7	-	-	-	-	2.1

③定期的に利用したいサービス

就学前児童

◆ 平日の教育・保育事業として定期的に利用したい事業については、「公立保育園」が65.3%と最も多く、次いで「公立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が29.8%、「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が27.6%、「認定こども園」が24.9%の順となっています。



	全 体	公立 保育 園	公立 幼稚園 (通常 の就園 時間の 利用)	公立 幼稚園 の預か り保育	私立 幼稚園 (通常 の就園 時間の 利用)	私立 幼稚園 の預か り保育	認定 こども 園	小規 模保 育事 業所	家 庭 的 保 育	企 業 主 導 型 保 育 事 業 所	自 治 体 の 認 証 ・ 認 定 保 育 施 設	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー 、 民 間 保 育 サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー な ど	そ の 他	無 回 答
全 体	987	645	294	183	272	165	246	34	16	38	23	11	29	70	14	28
	100	65.3	29.8	18.5	27.6	16.7	24.9	3.4	1.6	3.9	2.3	1.1	2.9	7.1	1.4	2.8
0 歳	183	134	73	40	44	29	53	12	5	12	8	2	5	10	4	6
	100	73.2	39.9	21.9	24	15.8	29	6.6	2.7	6.6	4.4	1.1	2.7	5.5	2.2	3.3
1 歳	174	120	58	39	51	26	49	6	1	12	4	5	4	13	3	6
	100	69	33.3	22.4	29.3	14.9	28.2	3.4	0.6	6.9	2.3	2.9	2.3	7.5	1.7	3.4
2 歳	170	101	52	33	55	35	46	6	4	3	3	1	4	12	1	4
	100	59.4	30.6	19.4	32.4	20.6	27.1	3.5	2.4	1.8	1.8	0.6	2.4	7.1	0.6	2.4
3 歳	171	111	53	30	52	26	49	6	5	8	5	3	7	16	-	5
	100	64.9	31	17.5	30.4	15.2	28.7	3.5	2.9	4.7	2.9	1.8	4.1	9.4	-	2.9
4 歳	140	84	24	14	40	26	25	3	1	1	1	-	6	9	2	2
	100	60	17.1	10	28.6	18.6	17.9	2.1	0.7	0.7	0.7	-	4.3	6.4	1.4	1.4
5 歳	141	89	32	26	30	22	22	1	-	1	1	-	3	10	4	3
	100	63.1	22.7	18.4	21.3	15.6	15.6	0.7	-	0.7	0.7	-	2.1	7.1	2.8	2.1

(4) 病気の時の対応

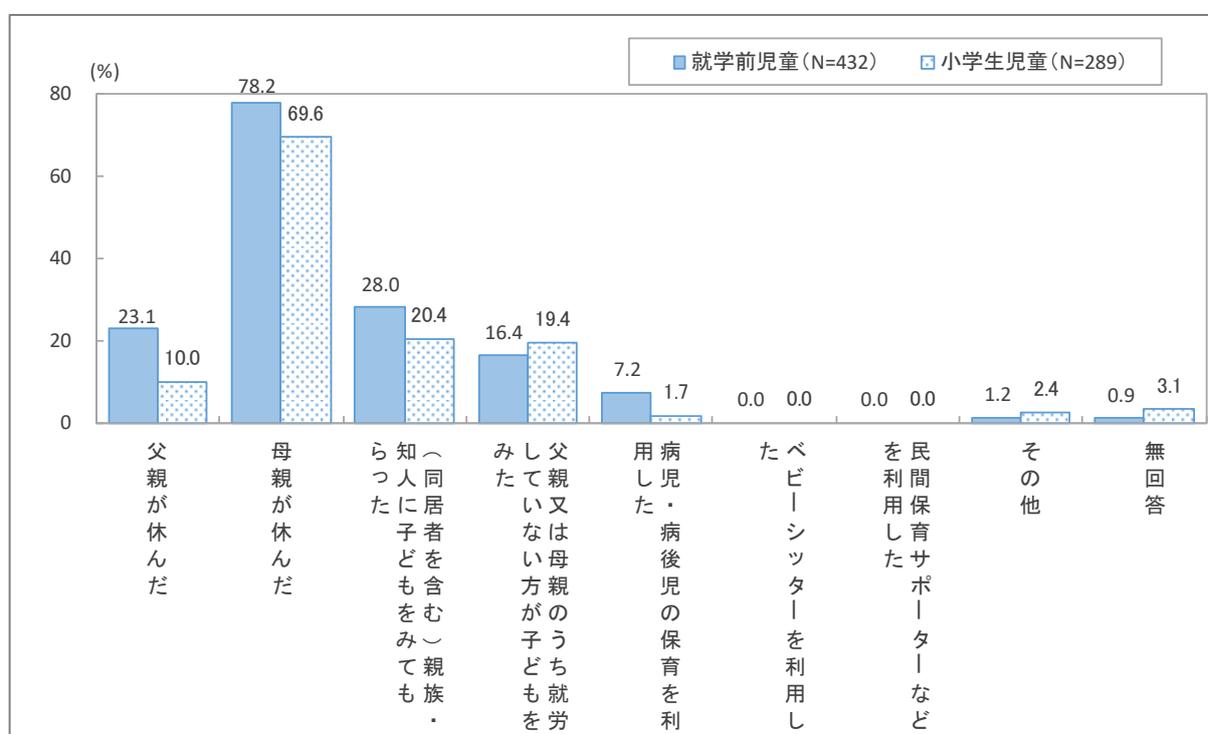
①病気の時の対応方法

就学前児童

◆ 子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった時の対処法は、「母親が休んだ」が78.2%と最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が28.0%、「父親が休んだ」が23.1%のとなっています。

小学生児童

◆ 子どもが病気やケガで学校を休んだ時の対処法は、「母親が休んだ」が69.6%と最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が20.4%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が19.4%のとなっています。



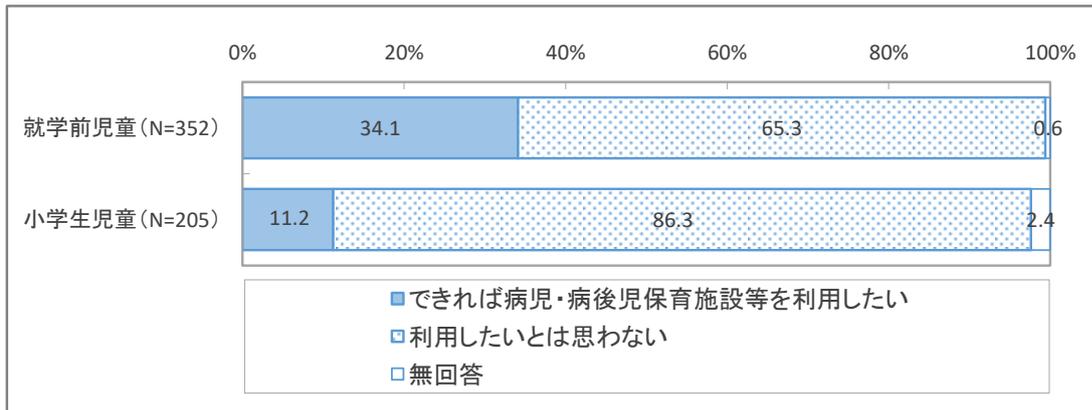
②病児・病後児保育の利用意向

就学前児童

- ◆ その際に病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば利用したかった」が34.1%、「利用したいとは思わなかった」が65.3%となっています。

小学生児童

- ◆ その際に病児・病後児保育施設等の利用希望については、「できれば利用したかった」が11.2%、「利用したいとは思わなかった」が86.3%となっています。



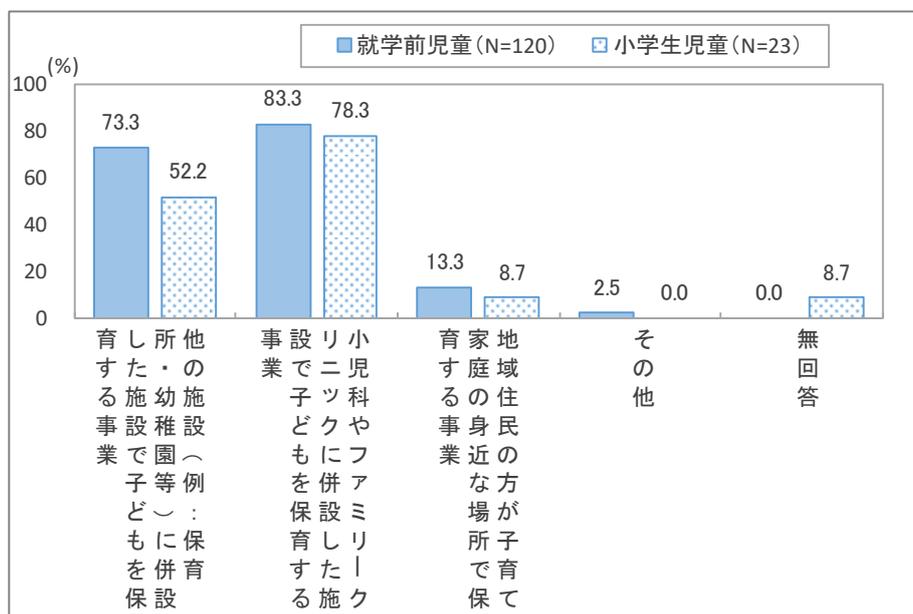
③病児・病後児保育の望ましい事業形態

就学前児童

- ◆ 病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態は、「小児科やファミリークリニックに併設した施設で子どもを保育する事業」が83.3%と最も多く、次いで「他の施設（例：保育所・幼稚園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.3%、「地域住民の方が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が13.3%となっています。

小学生児童

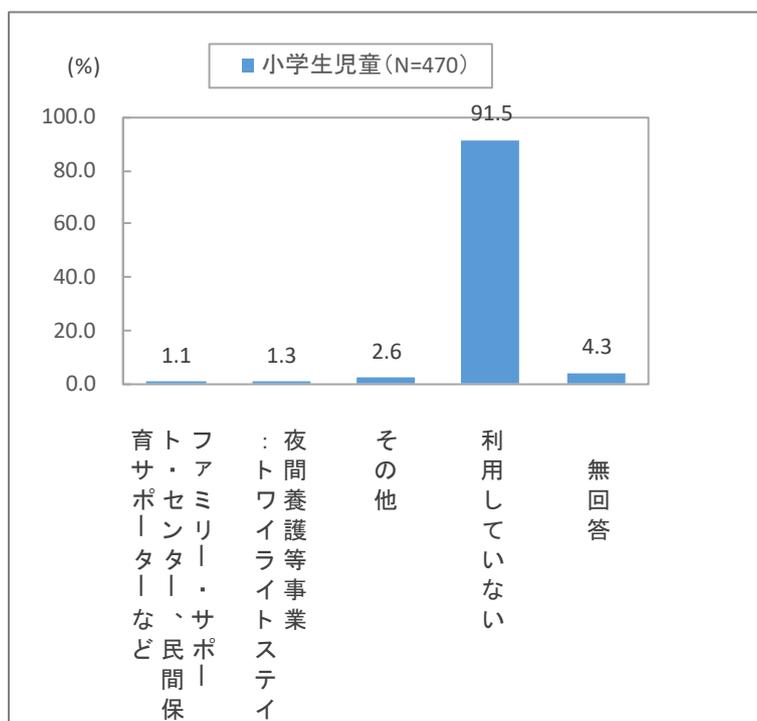
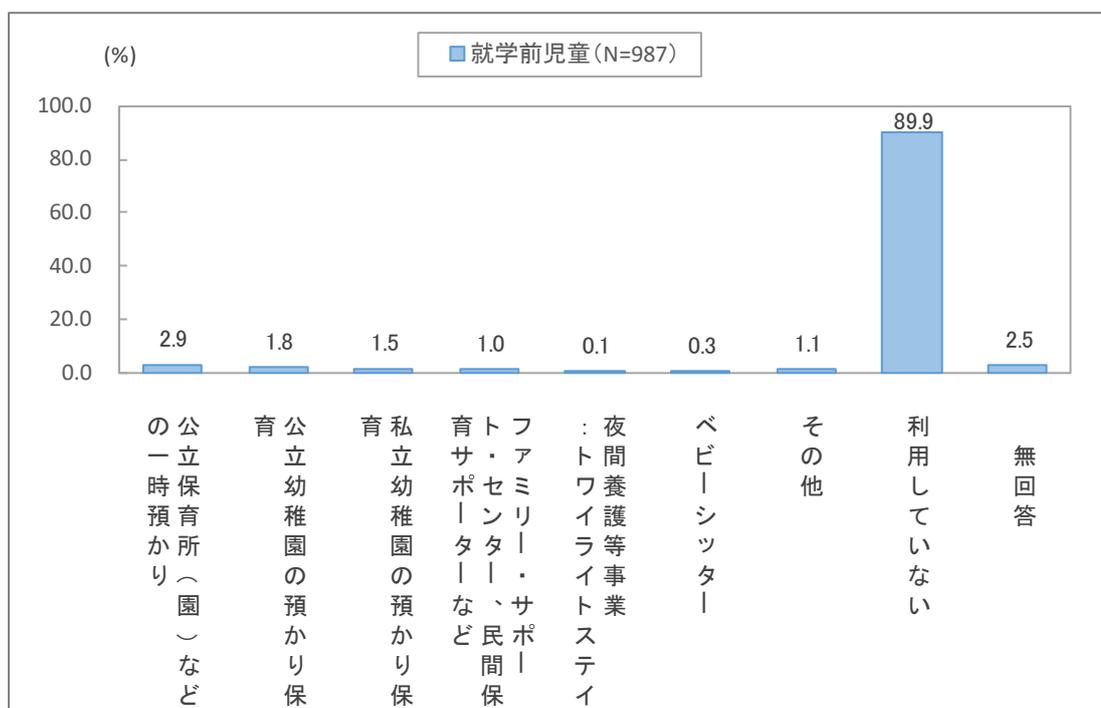
- ◆ 病児・病後児保育施設等を利用する場合の望ましい事業形態は、「小児科やファミリークリニックに併設した施設で子どもを保育する事業」が78.3%と最も多く、次いで「他の施設（例：保育所・幼稚園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が52.2%となっています。



(5) 一時預かり

①一時預かり保育サービスの利用状況

◆ この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等を理由とした一時預かり事業の利用状況については、「利用していない」が就学前児童で89.9%、小学生児童が91.5%と多くなっています。



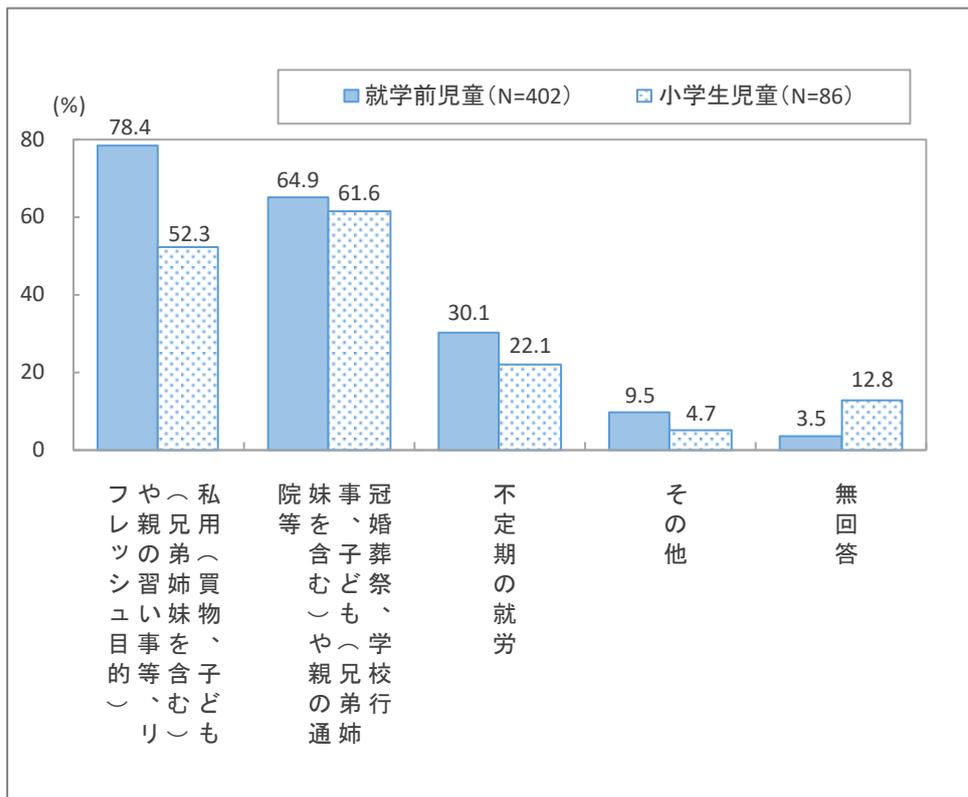
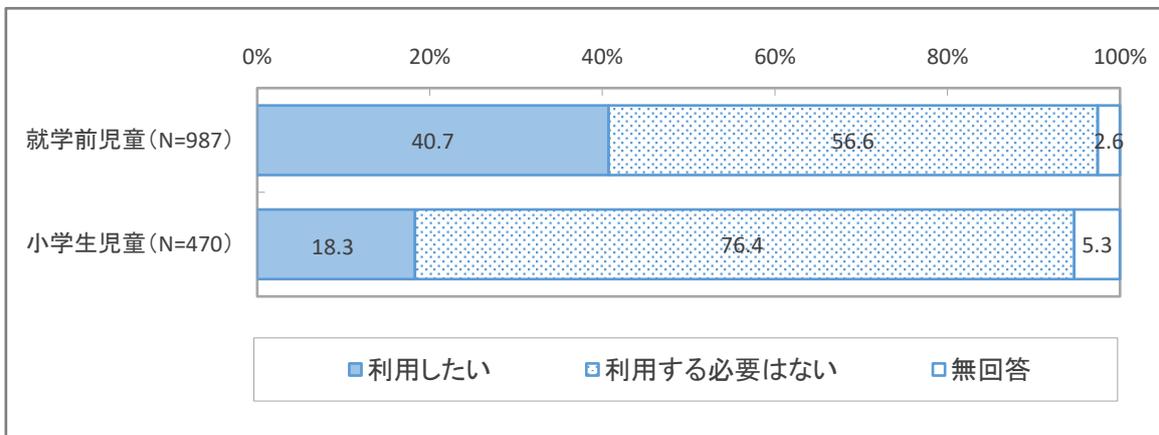
②一時預かり利用意向・利用目的

就学前児童

- ◆ 一時預かりの利用意向は、「利用したい」が40.7%、「利用する必要はない」が56.6%となっています。
- ◆ 利用したい理由については、「私用やリフレッシュ目的」が78.4%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が64.9%、「不定期の就労」が30.1%となっています。

小学生児童

- ◆ 一時預かりの利用希望については、「利用したい」が18.3%、「利用する必要はない」が76.4%となっています。
- ◆ 利用したい理由については、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が61.6%と最も多く、次いで「私用やリフレッシュ目的」が52.3%となっています。



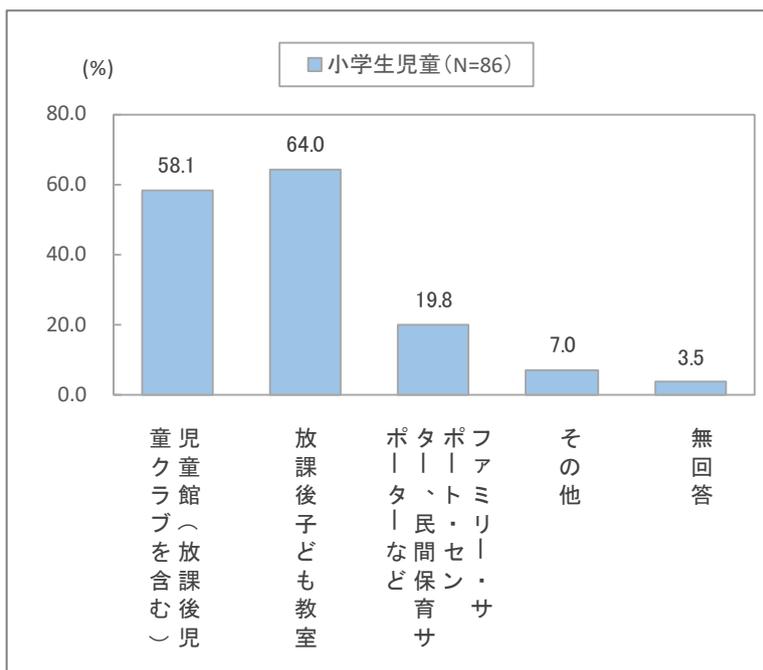
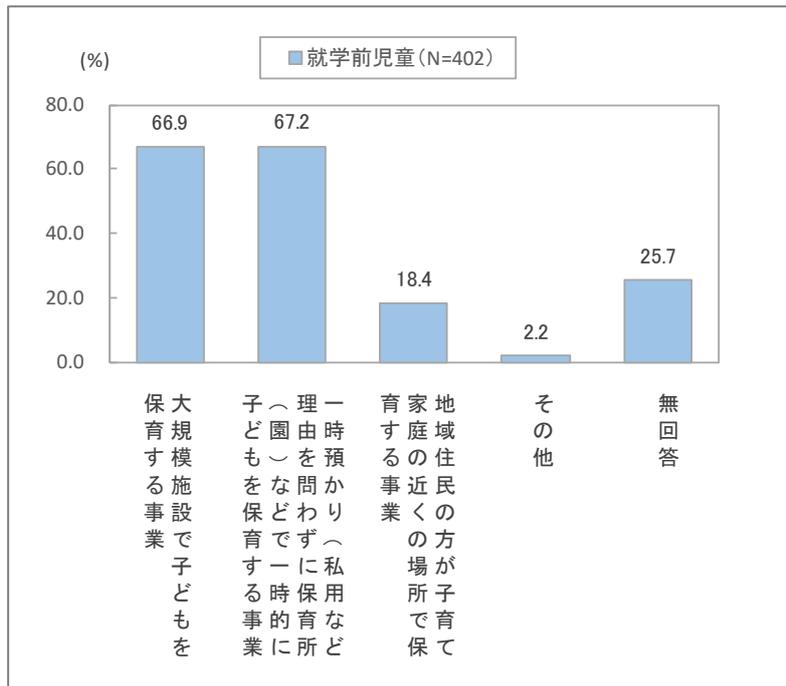
③一時預かりの望ましい事業形態

就学前児童

◆ 私用等で子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所（園）などで一時的に子どもを保育する事業）」が67.2%と最も多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」が66.9%、「地域住民の方が子育て家庭の身近な場所で保育する」が18.4%となっています。

小学生児童

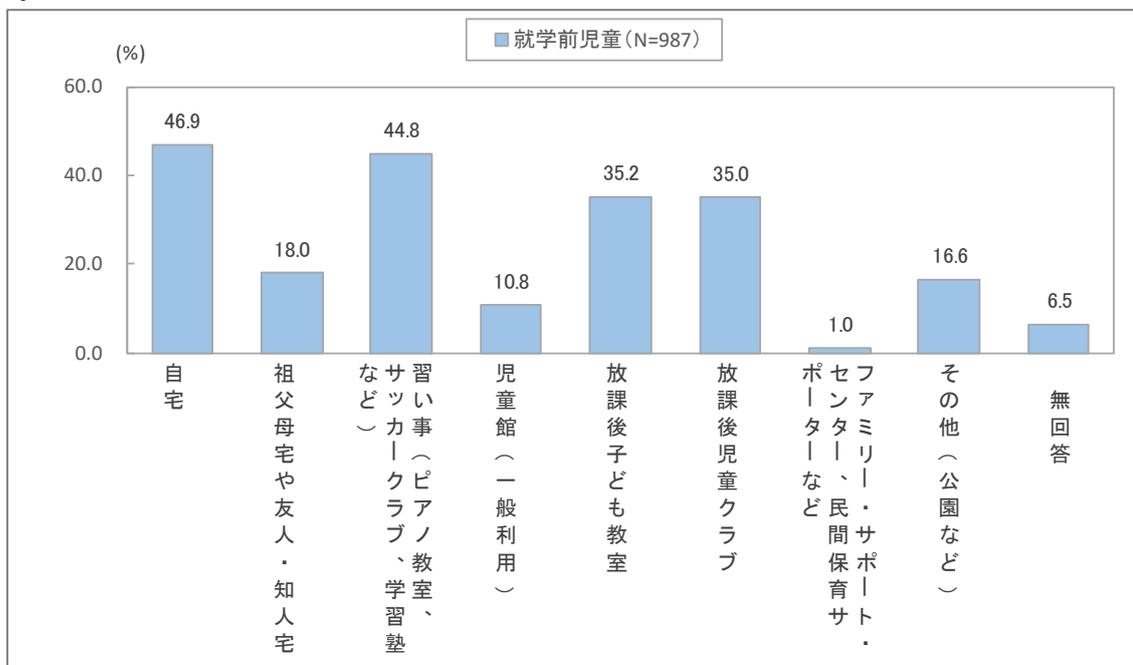
◆ 私用等で子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「放課後子ども教室」が64.0%と最も多く、次いで「児童館（放課後児童クラブを含む）」が58.1%、「ファミリー・サポート・センター、民間保育サポーターなど」が19.8%となっています。



(6) 放課後の過ごし方

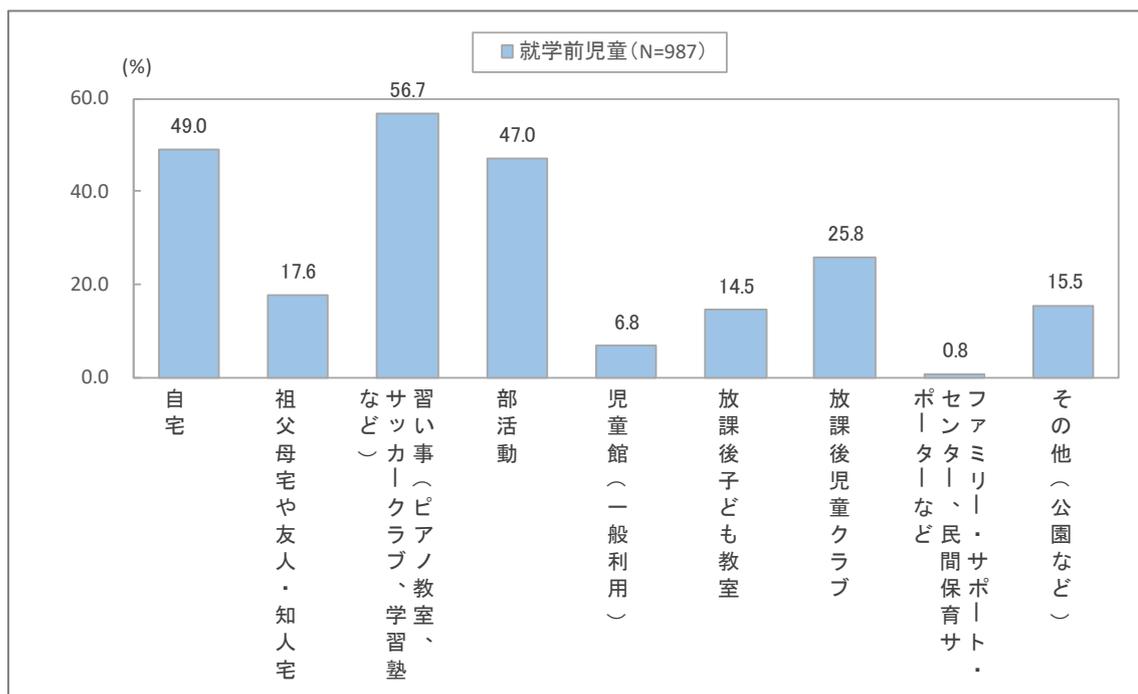
①就学前児童が小学校低学年になった時に希望する放課後の過ごし方

◆ 低学年の間の放課後時間の希望する過ごし方については、「自宅」が46.9%と最も多く、次いで「習い事」が44.8%、「放課後子ども教室」が35.2%、「放課後児童クラブ」が35.0%となっています。



②就学前児童が小学校高学年になった時に希望する放課後の過ごし方

◆ 高学年の間の放課後の時間の希望する過ごし方については、「習い事」が56.7%と最も多く、次いで「自宅」が49.0%、「部活動」が47.0%、「放課後児童クラブ」が25.8%の順となっています。

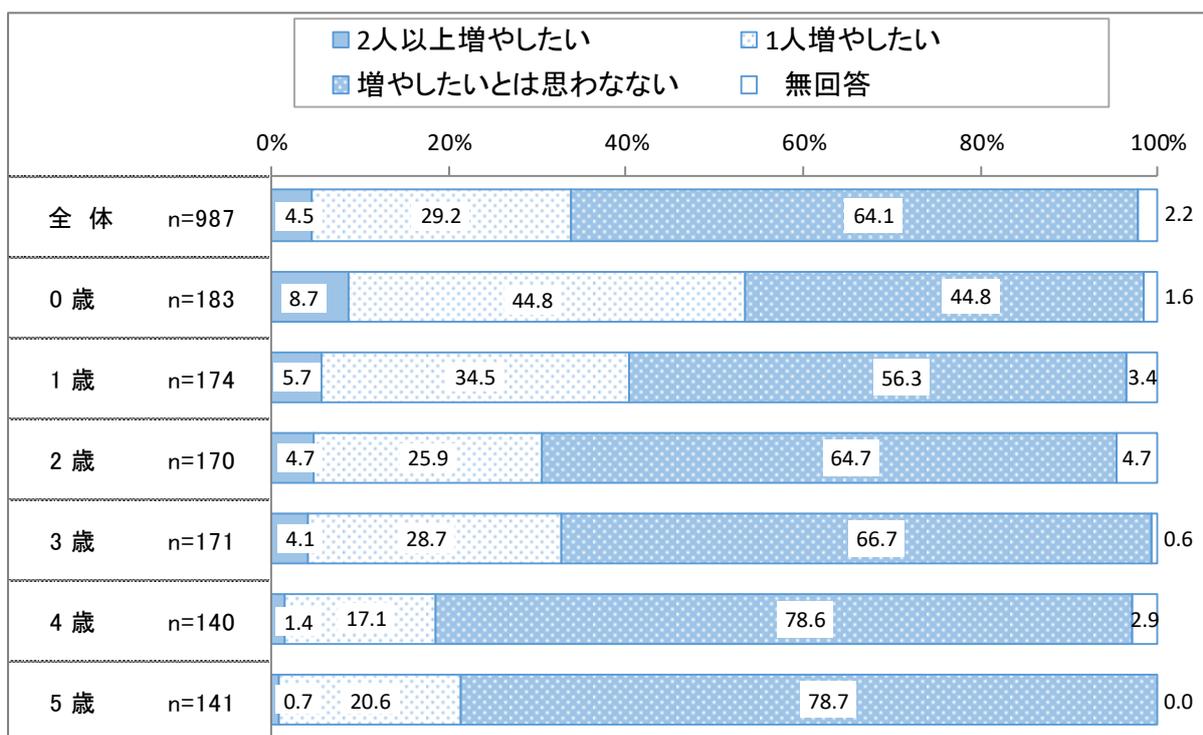
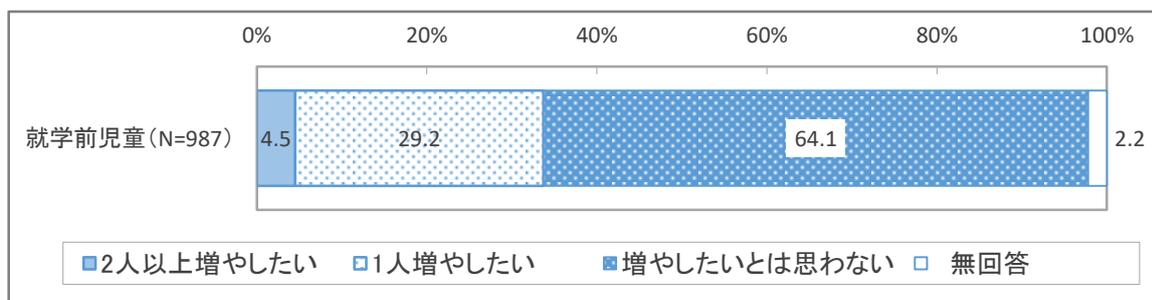


(7) 幼児教育・保育の無償化

①幼児教育・保育の無償化が実現した場合の子どもの人数

就学前児童

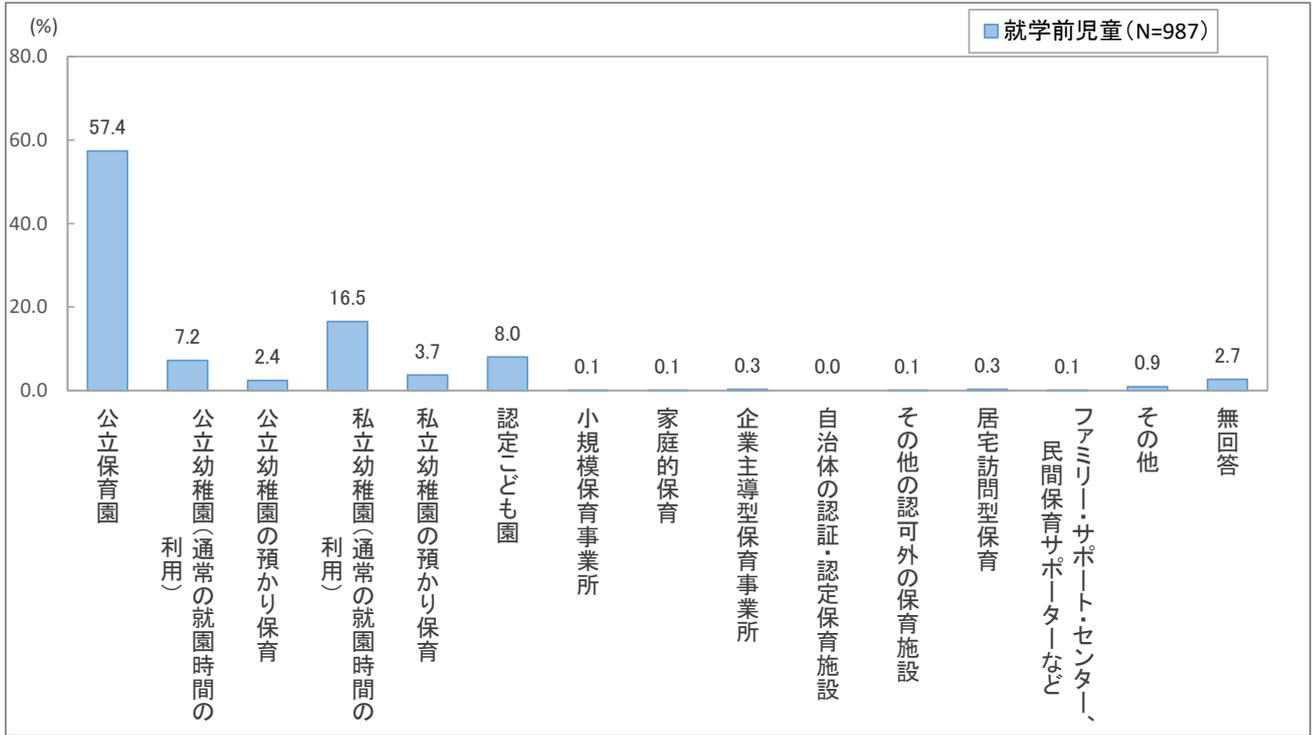
◆ 幼児教育・保育の無償化が実現したら、これにより子どもの人数を増やすかどうかは、「増やしたいと思わない」が64.1%と最も多く、次いで「1人増やしたいが」が29.2%、「2人増やしたいが」が4.5%となっています。



②無償化後に希望する教育・保育事業

就学前児童

◆ 無償化後に希望する教育・保育事業は、「公立保育園」が57.4%と最も多く、次いで「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が16.5%、「認定こども園」が8.0%、「公立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が7.2%となっています。



	全体	公立保育園	公立幼稚園(通常の就園時間の利用)	公立幼稚園の預かり保育	私立幼稚園(通常の就園時間の利用)	私立幼稚園の預かり保育	認定こども園	小規模保育事業所	家庭的保育	企業主導型保育事業所	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター、民間保育サポーターなど	その他	無回答
全体	987	567	71	24	163	37	79	1	1	3	-	1	3	1	9	27
	100	57.4	7.2	2.4	16.5	3.7	8	0.1	0.1	0.3	-	0.1	0.3	0.1	0.9	2.7
0歳	183	110	13	7	23	8	14	-	1	-	-	1	1	1	1	3
	100	60.1	7.1	3.8	12.6	4.4	7.7	-	0.5	-	-	0.5	0.5	0.5	0.5	1.6
1歳	174	109	8	6	21	4	19	-	-	1	-	-	-	-	2	4
	100	62.6	4.6	3.4	12.1	2.3	10.9	-	-	0.6	-	-	-	-	1.1	2.3
2歳	170	92	17	1	34	11	7	-	-	1	-	-	-	-	2	5
	100	54.1	10	0.6	20	6.5	4.1	-	-	0.6	-	-	-	-	1.2	2.9
3歳	171	88	18	4	36	4	17	-	-	-	-	-	-	-	1	3
	100	51.5	10.5	2.3	21.1	2.3	9.9	-	-	-	-	-	-	-	0.6	1.8
4歳	140	79	8	3	25	7	8	1	-	-	-	-	1	-	1	7
	100	56.4	5.7	2.1	17.9	5	5.7	0.7	-	-	-	-	0.7	-	0.7	5
5歳	141	85	6	3	24	3	12	-	-	1	-	-	1	-	2	4
	100	60.3	4.3	2.1	17	2.1	8.5	-	-	0.7	-	-	0.7	-	1.4	2.8